

# ウェルネスシティ鴨川 構想案

2018年11月17日

岡野 大和

## 1. ビジョン

### ウェルネスシティ鴨川

【ウェルネスシティ鴨川とは・・・】

**人々・地域社会が健康・健全・幸福であること**

- ① 鴨川市に住まう人々、訪れる人々が心身ともに健康で、輝く人生を実現する場所
- ② 持続可能で健全な仕組みが絶えず循環し、地域社会の幸福を実現する場所

## 2. ミッション

### “良質な日常”に提供のよる、新しいライフスタイルの提案

日常に新しい意味や価値を+aしたコンテンツやサービスを鴨川で提供し、パラダイムシフト、価値観の多様化が進む時代をさらに先んじた新しいライフスタイルを鴨川から提案、実現していく。

このミッションを遂行するにあたって、3つの軸としてスポーツ、カルチャー、ツーリズムに注目し、それらを融合し、鴨川に新たな価値を生み出していく。

## 3. プロジェクト

### ① スポーツ・カルチャーコミッション

スポーツ、カルチャーを活かした事業を戦略的に展開する事業体、すわわち「スポーツ・カルチャーコミッション」を平成31年4月を目途に創設し、官民一体となった企画・運営を推進する。

#### (1) スポーツ・カルチャーの大会・合宿誘致事業

#### (2) 鴨川市総合運動施設をはじめとする公共施設の指定管理・整備

(3) スポーツ×カルチャー×ツーリズム（ライフ）を融合させた新たな仕組みづくりの創造・事業展開という3つの事業を柱として活動を展開していく。特に、3番目の事業はこのコミッションがもつ極めて前衛的なミッションであり、「ウェルネスシティ鴨川」を実現する推進力となる。

### ② ウェルネスツーリズム（ヘルスツーリズム）による平日における程良いツーリズム振興

今後、ライフスタイルは多様化し、時間や曜日、場所といった概念は大きく転換していくことになると予想される。働き方は人それぞれとなり、平日に休みを取り、リフレッシュにでかけたり、アクティビティに興じたり、あるいは1日の中でも、ワーキングとアクティビティなどの時間が織り混ざるような生活を送る人も増えていくと考えられる。

例えば、朝、東京からWiFi付の高速バスで車内で仕事をこなしながら鴨川にやってきて、鴨川でサーフィンやアウトドアを楽しみ、コワーキングスペースで再び仕事をし、鴨川の食を楽しみ、再び東京に戻るといった仕事・生活の仕方も現実的に可能な時代となってきている。

また、企業には社員が心身ともに健康で職務を遂行するいわゆる「健康経営」が求められ、厚生労働省も制度をつくり、平日のヘルスツーリズムを社員の福利厚生、健康増進として推奨、補助を出している民間企業も表れてきている。

それらのニーズ、時代のトレンドを汲み取り、ウェルネスツーリズム（ヘルスツーリズム）のプログラムを整備し、特に企業向けに展開することは、平日に程良い来訪者が期待され、クオリティーの高いサービスが提供を行えるほか、地域や環境に対する負荷を軽減することもできる。また、企業向けのサービスであれば、収益性も確保され、経済的にも持続可能な仕組みを構築できるものと考える。

鴨川市はスポーツ・カルチャーコミッションを企画・運営事業体として、前項「**(3) スポーツ×カルチャー×ツーリズム（ライフ）を融合させた新たな仕組みづくりの創造・事業展開**」の一つとして、平日における（特に企業向けの）**ウェルネスツーリズム（ヘルスツーリズム）**を展開する。

### ③ エリアごとにコンセプトを設定した上での拠点整備

鴨川は大きく、鴨川地区（市街地）、長狭地区、江見地区、天津小湊地区の4エリアに分けられる。

エリアごとの特徴、資源をしっかりと把握し、それらを活かすコンセプトを設定した上で、エリアごとの拠点整備を推進し、そこをHUBとして地域に広がっていく人の流れをつくっていく。

(1) 鴨川地区 = 海辺 = ウォーターフロントである海辺エリアの再整備 マリン・ビーチスポーツ

(2) 長狭地区 = 里山 = みんなみの里・里山オフィス アウトドアスポーツ

(3) 江見地区 = 里海 = 歴史的な絵描きの町・太海をヒントにしたカルチャー空間としての整備

(4) 天津小湊地区 = 歴史 = 日蓮上人に代表される寺社、海も山もあるコンパクトなエリアにおけるプロトタイプづくり

## 4. 具体的な拠点整備（整備順）

### ① 鴨川地区：フィッシャリーナ ※別紙参照

フィッシャリーナは別紙のようなビーチスポーツパークを整備し、鴨川の海辺の象徴である前原横渚海岸と連動したビーチスポーツの聖地としてブランディングを図る。

ビーチスポーツは子どもからお年寄りまで取り組みやすく、アスリートだけでなく、市民の健康づくりにも十分に活用できる。ビーチスポーツパークは鴨川観光プラットフォーム株式会社（ハード部分：駐車場・テナント貸し業務）、スポーツ・カルチャーコミッション（ソフト部分：プログラムの企画、施設の活用・運営）によるハイブリッド型のジョイント事業体によって運営され、現場にはアスリートを積極的に雇用し、アスリートにとってもスポーツを続けながら、まちづくりを仕事として活躍できる環境を整備する。

### ② 鴨川地区：マルキポイント

サーフィン発祥の地・鴨川の中でもとりわけ有名なサーフポイントであるマルキポイントでは土日よりも、平日にも多くのサーファーが訪れており、すでにマリンスポーツのメッカとしての立ち位置を確立している。国際的な大会が行われ、多くの人で賑わうことも少なくない。

しかしながら、現在マルキポイントは駐車場も無料で、トイレやシャワーで無料で提供しているという

状況であり、鴨川にとっての貴重な収入源を失っている。また、サーファーも鴨川市内の飲食店などの情報に疎く、サーフィンをしてそのまま帰ってしまうという機会損失も発生している。

マルキポイントには、トレーラーハウスなどで**インフォメーション**を設置し、そこに鴨川観光プラットフォーム株式会社やスポーツ・カルチャーコミッションのスタッフ（マリンスポーツアスリートが望ましい）を常駐させ、鴨川市内のインフォメーションを積極的に行い、市内への送客を図るほか、駐車場・シャワー（温水シャワー化する）の有料化により、同インフォメーションの自走を実現する。

### ③ 天津小湊地区：小湊小学校跡地 ※別紙参照

平成31年3月で閉校する小湊小学校跡地には、**スポーツ・カルチャーを柱とする拠点**を整備する。

既存の鴨川市総合運動施設や内浦山県民の森などの施設と連携し、これまで市内に少ないニッチなスポーツやカルチャー分野に注目した施設整備を行うことで、絶対数は少ないながら、極めてヒット率の高い分野の大会・合宿誘致を図ることができる。

また、あわせて、セミナーハウス、地域のコミュニティーセンターとしての機能、地産地活をコンセプトとしてレストラン・カフェ、マルシェなどを提供し、地域内外の人々、多世代、親子などが集い、交流する空間を実現する。

### ④ 鴨川地区：鴨川市市民会館

前原横須海岸に面した鴨川市市民会館周辺のエリアについては、国有地も含まれることから、国と折衝した上で（必要に応じて国有地を市が譲り受ける）、**マリン・ビーチアクティビティセンター&パーク**を整備する。

先行して整備するフィッシャリーナ後背地、マルキポイントと連携して、海辺の新たなまちづくりを推進するメインの拠点とする。

### ⑤ その他

- 周辺地域とも連携した、統一的なメニュー（料金、乗り捨てなど）によるレンタサイクルネットワークの整備
- Eバイクの整備（レンタサイクル）
- 太平洋岸自転車道整備事業や自転車活用法による、ブルーライン、サイン、ステーションの整備
- みんなみの里の地域拠点強化
- 里山オフィスに交流カフェなどを新設し、交流機能強化

：

：

# (仮称) 鴨川ビーチパーク 構想

## 1. コンセプト

鴨川のビーチにみんなが参加できる“楽しい”アクティビティスポットを！

## 2. ポイント

- ① **サンドコート**を中央に配置し、そのまわりにショップ・カフェ・バー・BBQ等の商業施設を配置する
- ② ビーチスポーツはアスリートだけでなく、砂というクッションでケガのリスクが低いため、**子どもやお年寄りも楽しめるスポーツ**であり、親子連れやお年寄りが集い、スポーツを通じて交流する空間を創造する。例えば、親子連れが子どもをビーチコートで遊ばせ、親はショッピングをしたり、カフェで時間を過ごすといったことを可能にする。また、お年寄り向けにビーチスポーツ健康教室などを開催する。（平日稼働）
- ③ ビーチスポーツは**エンターテイメント性**も高いスポーツであり、例えば、ナイトゲームを開催し、観客は音楽・DJ付のゲーム観戦を楽しみつつ、飲食できる、新しいスポーツエンターテイメント空間をつくる。
- ④ 同敷地内に「海辺倶楽部」事務所を兼ねたアクティビティセンター（エリアマネジメントセンター）を設置し、また、イベント時には近接する前原横渚海岸の砂浜やフィッシャリーナと連動した展開を図る。  
（海辺エリアの文字通り拠点となる）
- ⑤ 駐車場は次ページの図のように整備し、夏季繁忙期の海岸駐車場としても利用する。駐車場地面はアスファルトやコンクリートではなく、海辺の魅力を高める自然素材を活用する。

## 3. 運営組織

鴨川観光プラットフォーム株式会社がパークを運営し、駐車場・テナント収入を得て、組織としての安定的な収入源とする。

ショップ・カフェ・バーは民間事業者がテナントとして入庫し、各々運営する。

サンドコート、魅力体験広場はスポーツカルチャーコミッションが運営に当たり、コンテンツ開発や販売促進などを行う。また、アスリート雇用を実現し、スポーツ文化の醸成を図る。



鴨川シーサイド  
バーベキューパーク

砂浜と連動した  
アクティビティ  
イベント展開

魅力体験広場 (芝生)

芝生などにして  
もう少し  
きれいに整備する

駐車場

海辺クラブ  
アクティビティ  
センター

オープンカフェ・バー

サンドコート  
55m x 40m

ウッドデッキ  
BBQテラス

クルマ動線

オープンカフェ・バー

カフェ・バー・ショップ

駐車場

芝生などにして  
駐車場・イベントなど  
多目的に使用できる  
広場とする



小湊小学校・中学校跡地活用（案）

観光・健康福祉・スポーツ・文化複合施設  
元気なまち創造ターミナル

# 「天津小湊里海里山学校」 構想案

～地元発！小湊の地からはじまる、新時代のまちづくり～

平成30年5月

天津小湊地区若手有志

小湊幼稚園・小学校PTA 天津幼稚園・小学校PTA



平成31年3月を以て小湊小学校が閉校されます。先に閉校している旧小湊中学校の施設群とあわせて閉校後の跡地活用が検討されています。学校は地域の人々にとって、仲間たちとかけがえのない時間を過ごした無数の思い出の息づく拠り所であり、神聖な場所です。そんな学校が無くなるという事実は地域、そして母校とする人々に喪失感をもたらす極めて大きな出来事です。跡地活用において、その土地や建物が単なるモノではなく、地域の先人たちが歴史を積み上げてきた特別な空間であるということを経験し、確固たるビジョンをもち、地域を愛する人々によってデザインし、事業が実施されなければなりません。その視点で、**観光・健康福祉・スポーツ・文化複合施設 元気なまち創造ターミナル「天津小湊里海里山学校」**構想案を提案します。

## この構想に込めた想い

**地元発** この構想案は**地元の若者有志によって**作られました。地元で生まれ育ち、地元をよく知り、地元を愛着をもつ若者たちが学校の跡地をどのように活用し、未来につなげていくのか、真剣に考えて作られたものです。いくら内容が良い計画であっても、そこに地元への強い思いがなければ生きたものにはなりません。この構想案には、地元の夢や希望が詰まっています。そして、**小湊の誇りと魂**が込められています。

**全員参加** この構想案では**すべての人たちが**主役となります。新たに生まれ変わる空間には、地元の子どもたちからお年寄りはもちろん、地域外からも観光客・施設利用者、さらに健常者から障害者が集まり、お互いに交流が生まれ、なにかが生まれます。それは学校跡地だけにとどまらず、地域のターミナルとして地域全体に広がっていきます。この場所から**全員参加の未来につながる新しいまちづくり**が始まるのです。

**育む** 学校は**育む空間**です。長い歴史の中で、多くの子どもたちがそこで育ち、巣立ちました。学校が閉じられたとしても、なにかが生まれ出され、育まれる空間であり続けたい。そんな思いをこの構想案ではカタチにしています。建造して終わりではなく、むしろそれを新たなスタートとして、誇りある学校の歴史を紡いでいく。学校というカタチは無くなりますが、「育む」という役割は生き続けます。これからも**地域の中心地として常に育ち続ける**、そんな空間を目指します。

## 小湊 3つのいいね！

**エキチカ** // JR安房小湊駅に近接する抜群の利便性

外房エリアの幹線道路である国道128号線沿いに位置するほか、JR安房小湊駅にも近接し、抜群の利便性を誇ります。現在、東京ー勝浦・小湊線の高速バス発着所になっているほか、実証運行が計画され将来的に定着を目指している長狭街道経由の高速バス発着所になることも検討されており、マイカー・高速バス・鉄道という**交通手段のターミナル**になる可能性があります。

**ウミチカ** // 目の前に広がる小湊海水浴場のビーチ・太平洋

都市圏から訪れる観光客にとって**海はこの上ない観光資源**の一つです。目の前に小湊海水浴場のビーチ、そして、太平洋が広がるロケーションは魅力を発信するには十分な力をもっており、マリンスポーツアクティビティへの展開も期待されます。

**ヒトチカ** // すぐ近くにある生活の営み、人々の息遣いとふれあい

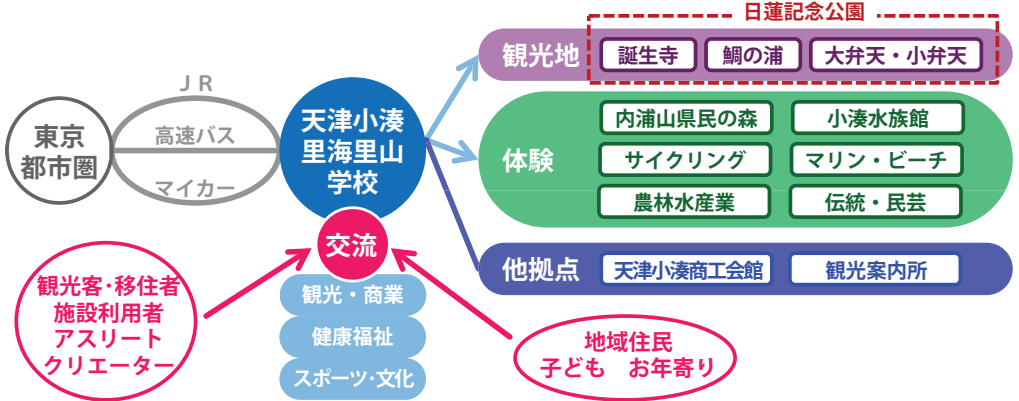
周囲には小湊地区の日常の生活が広がっています。そこには地域を愛する人々の息遣いが生きています。近年、外国人観光客を中心に、必要以上に整備され作られた観光地ではなく、**ありのままの日常を体験できる場所**が注目されてきています。**日本の漁村・田園の原風景を味わい、人々とふれあうことのできる新しい時代の観光スタイル**を提案する空間となります。

# 地元発！地元による地元の未来のための構想です。

目指す **1 + 4** の大切なこと

## 地域の元気発信拠点となる。

元気なまち創造ターミナル「天津小湊里海里山学校」は文字通り**まちづくりの拠点**として、地域を元気にしていくことを大切な目標としています。地域住民に必要なさまざまな機能、域外からの来訪者を集める新しい時代に対応した魅力あふれるサービスを複合的に提供します。本施設をスタート地点として**地域をまるごと体験し、楽しめる仕組みを築くこと**で、天津小湊地区全体を活性化させていきます。



**新しい観光のカタチ** // 車を降りて、行動する

JR安房小湊駅に近接し、高速バスの発着所にもなる鴨川・勝浦エリアの交通の要所です。目の前には内浦湾のビーチが広がり、誕生寺・鯛の浦をはじめとする名蹟や、内浦山県民の森への拠点ともなり、**モノ消費からコト消費に転換している現代人のニーズを十分に満たす価値あるサービス**を提供できます。

**未来を拓く空間** // アスリート・クリエイターが集い、切磋琢磨する

スポーツ・文化施設の整備により、トレーニングに集中できる空間、アートあるいはビジネスを発想し創造する空間を実現することで、まさに小湊小学校・中学校がそうであったように、人々にとって**未来を拓く場所**をデザインします。**プラスのパワー**が満ちあふれ、地域に広がり、地域の活性化、価値の向上を図ります。

**地域住民の笑顔** // 子ども・大人・お年寄り、みんなの笑顔が輝く

小湊幼稚園・ひかり保育所も統合の対象となっていますが、小湊地区から完全に子どもたちの姿を無くしてしまっても良いのか、十分に考える必要があります。幼稚園・保育所を鴨川市内でも不足しているこども園・学童として再生し保育・教育機能を残すことで、**子どもたちの笑顔をなくさない**という選択肢を提案します。加えて、**お年寄りも気軽に集い、元気に交流できる空間**も創造します。まさにここでは、これからも、地域住民みんなの笑顔が輝き続けるのです。

**ユニバーサルデザイン** // だれでも不便なく自然に利用できる施設設計

健常者、お年寄り・障害者など、すべての人たちが等しく不便なく利用できる設計の手法を「ユニバーサルデザイン」と言います。観光・商業施設には日常活動の範囲に限られるお年寄りを配慮した**ショッピング**、各戸を訪問するいわゆる**“御用聞き”サービス**を展開する拠点を設け、福祉面においても**高齢化・過疎化**に対応した、**まちづくりの拠点**としての役割を果たします。



- 駐車場部分は小湊鐵道株式会社の所有する駅前無料駐車場をそのまま活用して、高速バスターミナル・駐車場・トイレ等を整備します。既存の施設を利用することで、大幅な建設コスト削減を図ります。
- 高速バスターミナル整備にともない、既存路線の延長・新規路線の誘致を図り、交通の要衝とします。
- 大風沢川に東岸川へのアプローチ橋を新たに架橋します。
- インフォメーションにはツアーデスクを設け、着地型商品を企画・展開し、滞在型リゾートの推進を図ります。サイクルステーション、マリン・ビーチスポーツステーションも整備し、多様なアクティビティに対応します。本施設から地域へと利用者の行動範囲を広げることで天津小湊地区の観光拠点を目指します。
- 地元向けのショッピングや行政・医療のサテライト機能も提供し、地域コミュニティの充実、地域住民の生活利便性の向上を図り、また地域の高齢化・過疎化を配慮して“御用聞き”サービスを展開します。

鴨川観光プラットフォームを核とするジョイント事業体

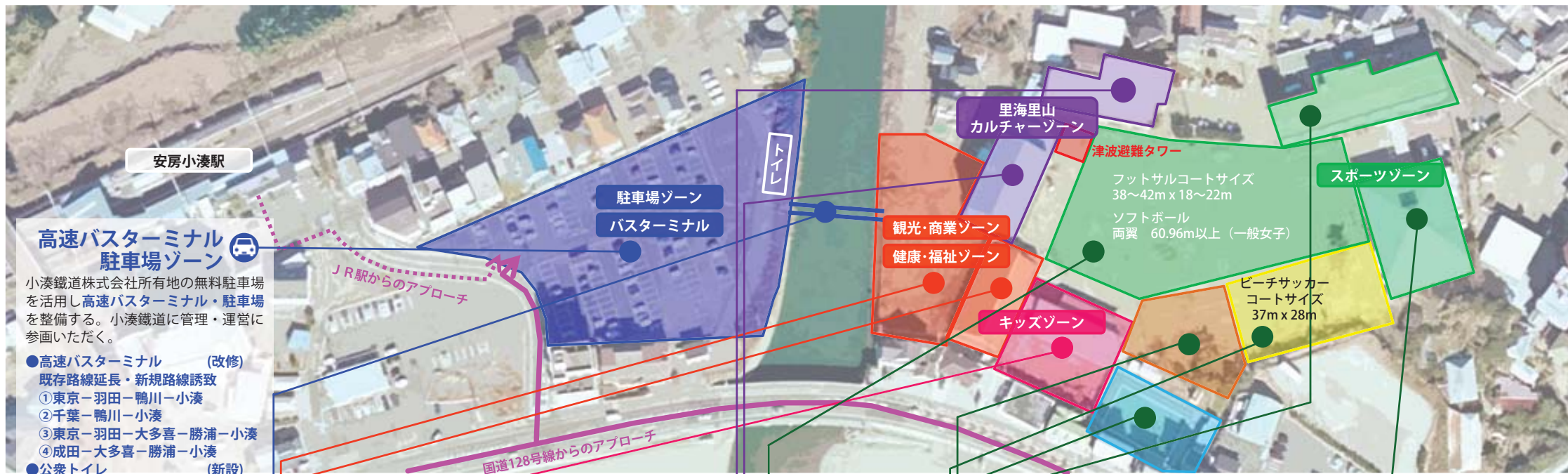
国土交通省 道の駅整備関連予算 など

健康・福祉	観光・商業	実施主体	実施主体
	スポーツ	財源	財源

- 小学校校舎・体育館・校庭・プールを活用し、小規模なスポーツシュレを整備します。地元の部活動・クラブのトレーニングのほか、スポーツ・文化活動の合宿やイベント、大会などを誘致し、世界を目指し鍛錬を積む空間とします。障害者スポーツにも対応する施設設計を行うことで、現在練習場不足に悩まされている障害者スポーツの受け皿施設として社会的使命も果たします。
- 中学校校舎を活用し、里海里山ハンズオンミュージアムを開設します。日蓮や波の伊八、TVアニメ「輪廻のラグランジェ」などをテーマとした文化機能を集積し、老朽化の深刻化な市民ギャラリーを移転するほか、地域の基盤である一次産業や伝統・文化の伝承を目的とした、さまざまなプログラムを展開します。
- 屋内運動場（体育館）・スポーツ館は音楽・芸能の文化公演や芸術の展示会も可能となるように改修し、多目的アリーナとして再整備します。

スポーツ・カルチャーコミッション(平成30年度設立目標)を核とするジョイント事業体

地方創生関連予算 スポーツ・文化関連予算 アニメ業界からの投資 クラウドファンディング など



### 高速バスターミナル 駐車場ゾーン

小湊鐵道株式会社所有地の無料駐車場を活用し高速バスターミナル・駐車場を整備する。小湊鐵道に管理・運営に参画いただく。

- 高速バスターミナル (改修) 既存路線延長・新規路線誘致
  - ① 東京ー羽田ー鴨川ー小湊
  - ② 千葉ー鴨川ー小湊
  - ③ 東京ー羽田ー大多喜ー勝浦ー小湊
  - ④ 成田ー大多喜ー勝浦ー小湊
- 公衆トイレ (新設)
- 大風沢川アプローチ橋 (新設)

### インフォメーション マルシェ・ショッピング

観光客だけでなく地域住民向けのサービスを提供する。活動可能範囲の狭い高齢者の購買にも対応するなど、生活利便性の向上を図る。コンテナハウス等を活用しカジュアルな雰囲気づくりと共に建設コストを削減する。

- KOMINATOまるごとマルシェ(朝市) (地元産物・農水産物等の販売)
- 地元向けショッピング
- 行政・医療サテライトサービス
- 独居高齢者向け“御用聞き”サービス
- インフォメーション (観光案内・体験ツアーデスク・着地型商品の企画・販売)
- サイクルステーション
- マリン・ビーチスポーツステーション

### 地産地活カフェ SATO-UMI-YAMA

幼稚園舎を活用し、カフェ・レストランを新設する。こども園の給食、スポーツ・文化施設の食事も供給し、効率的な運営を図る。地域の家庭で食べられている日常食や地元産ジビエ(猪肉、鹿肉料理など)・海鮮バーベキューなどを提供し、地産地活を推進する。お年寄りの憩いのスペースも設け、地元住民と来訪者の交流が生まれる空間を創造する。シニア層の雇用も推進する。

### こども園・学童

幼稚園・保育所・学童を統合し、保育園舎を活用しこども園を設け、地域の児童福祉を充実させ、親世代が働きやすい環境を創る。

### 里海里山ハンズオンミュージアム

市民ギャラリーを移転すると共に、地域の文化物を展示・収蔵し、また体験プログラムを提供する「ハンズオンミュージアム」を設ける。

- 市民ギャラリー移転
- 日蓮/波の伊八ミュージアム
- 輪廻のラグランジェ記念 アニメミュージアム・アーカイブ
- 一次産業・伝統文化体験教室
- シェアセミナーハウス・カルチャー教室
- 小湊小学校・中学校歴史展示室

### 多目的ミニホール

スポーツ館をスポーツとともに簡易的なライブ、シンポジウム、作品展覧会など、文化イベントも開催可能な多目的ミニホールとして整備する。

### 人工芝ピッチ

人工芝を敷設し、フットサルやソフトボール、テニスなどのトレーニングに活用する。照明も取付け、夜間利用に対応する。

### サンドコート

サンドコートを新設し、ビーチサッカー等のビーチスポーツに活用する。簡易スタンド、照明も整備し、公式戦も誘致する。

### 相撲場

相撲場を新設し、相撲合宿を誘致。夏季の小湊角力大会にも活用する。

### (既設)プール

リカバリートレーニング等に活用する。簡易的な屋根がけも検討する。

### スポーツシュレ AMATSU KOMINATO

小学校校舎・校庭・プール・体育館を再整備して、小規模なスポーツシュレを設ける。部活動・クラブの練習のほか、スポーツ・文化活動の合宿を誘致し、新しい観光を推進する。障害者スポーツ(バラスポーツ)にも対応し、健常者だけでなく、障害者やシニア層など幅広い利用者が不自由なく利用できる環境を実現する。あわせて施設利用率の向上を図る。地域住民も気軽に利用でき、憩いの空間として高齢者向けの運動教室を開催したり、子ども公園の役割も果たす。

- 1階: 事務所・食堂・浴室・トレーニングルーム
- 2階: 座学教室・会議室
- 3階: 合宿向け宿泊施設(洋室・シャワー付)

### スポーツシュレとは?

スポーツによる青少年の健全育成などを目的とした総合スポーツトレーニング研修センターのことです。役割や機能は施設により異なりますが、サッカーコート、サンドコート、テニスコート、屋内練習場(体育館、プール、柔道場、筋力トレーニングルーム等)などの充実したトレーニング施設をもち、座学用教室、食堂や宿泊設備なども完備されています。ドイツでは各州に整備され、青少年育成、競技力の向上のみならず、高いレベルの指導者育成にも役割を果たしています。

### 多目的アリーナ

体育館をスポーツと共に音楽発表会やライブ、舞台芸能等、文化イベントも開催可能な多目的体育館として整備する。鴨川市市民会館に代わる新たな文化施設としての役割も果たし、地域内外からの利用者を集める。



# 新しいまちづくりを

地域と人を**元気**にする**プログラム**

## 南房総東西の交通の要衝へ

安房小湊駅前無料駐車場を整備し、**高速バスターミナル**を設け、**既存路線の延長**、さらに**新規路線**を誘致し、南房総東西の交通の要衝となり、交流を促進します。

- 想定路線／
- ①東京駅－羽田空港－安房鴨川駅－亀田病院－小湊B T
  - ②千葉駅－安房鴨川駅－亀田病院－小湊B T
  - ③東京駅－羽田空港－大多喜－勝浦－小湊B T
  - ④成田空港－圏央道－大多喜－勝浦－小湊B T

## 地域の魅力・伝統発信基地へ

里海里山カルチャーゾーンには体験型の**ハンズオンミュージアム**を設け、地域の基盤である**農林水産業**や**伝統文化の体験**、天津小湊地区ならではの**アウトドア・スポーツアクティビティ**などのプログラムを提供します。

**地産地活カフェ SATO-UMI-YAMA**では、地元産の旬の農林水産物を活用した各種メニューを提供し、あわせて地域の飲食店への送客も図ります。市内に少ない**バーベキューエリア**も設定し、観光客のニーズに対応します。

ショッピングゾーンに設ける**KOMINATOまるごとマルシェ**では地元の生産者向けに**朝市**の空間を提供し、地元の人たちの手によって地域産品を販売します。前述の**バーベキューエリア**に**持ち込んでの賞味も**できるようにします。

このようなプログラムを通じて、地域の魅力・伝統を発信し、また**一次産業の伝承と活性化**を図り、従事者を誘致することで**移住・定住**にも結びつけていきます。

体験プログラムの例／ プール・教室を利用した**漁法の伝承・体験教室** 和船の手漕ぎ実習 潜水(素潜り) 投網・房州海老網実習 釣り用具づくり 網の修理 サーフイン・ウィンドサーフィン等の**マリンスポーツ教室**

カフェメニューの例／ 地元産**海鮮・ジビエ**バーベキュー 地元産**ジビエ料理** 地元で食べられている**日常家庭料理**

## 地域コミュニティの充実

域外からの観光客・来訪者のみならず、少子高齢化に対応した地域住民向けのサービスも充実させ**生活の利便性向上**を図るとともに、**地域コミュニティ**のさらなる醸成を目指します。地域内外、子どもから高齢者、健康者・障害者といった多種多様な人たちが集い、交流が生まれる、まちづくりの拠点として地域ターミナルの役割を担います。

- スポーツゾーン／ 高齢者向けの**運動教室** スポーツ少年団等の**練習** 児童公園
- カルチャーゾーン／ 各種**カルチャー教室** 地域住民の憩いの空間
- キッズゾーン／ こども園・学童の**開設** 親世代が働きやすい**環境の実現**
- 地産地活カフェ／ 高齢者の**雇用** (日常家庭料理の調理など)
- サテライト機能／ 市役所**サテライト** **サテライト医療**

★施設の設計にあたっては**ユニバーサルデザイン**を取り入れます。



# ココカラはじめよう。

ココカラ地域へ広がる**元気創造**

## スポーツ・文化の力

スポーツや文化には関わる全ての人々の心身を健康にする力があります。また、スポーツや文化は思想・信条を超越し、多くの人々が参加しやすいという特徴ももっています。まちづくり=人づくりの視点を以て言えば、スポーツ・文化の力をまちづくりに積極的に活かすべきなのです。

天津小湊里海里山学校の柱となるのは、スポーツ・文化の複合施設です。スポーツゾーンは、明日を夢見るアスリートや青少年が多く集い、トレーニングを通じて自らの心身を鍛錬する、まさに**ポジティブなエネルギーにみちあふれた**空間となります。そのエネルギーは地域にも伝播し、元気を与えてくれることでしよう。それだけでなく、だれもが不自由なく利用できる**ユニバーサルデザイン**の採用によって、**子どもから高齢者、健康者から障害者まで、地域内外、すべての人たちが**スポーツに親しめる場を提供します。

また、モノ消費からコト消費という価値観のシフトに対応すべく、**地域の環境資源を活用したアウトドアスポーツ、アクティビティ**のプログラムを提供し、活動範囲を地域全体に広げていきます。

カルチャーゾーンは、**日蓮や波の伊八**をはじめとする地域の誇るべき伝統文化、加えて鴨川市が舞台となった**TVアニメ「輪廻のラグランジェ」**の制作資料を活用した**ポップカルチャー**が交わる空間を創造し、さらに体験プログラムを通じて**農林業・漁業**をはじめとする**一次産業**、また**伝統文化の伝承**を図ります。地域向けに**カルチャー教室**も提供し、**地域内外から人々が集い交流する拠点**となります。まさに天津小湊の魂、プライドがここには息づき、小湊小学校・中学校がそうであったように、これからも多くの人々を育み続けることでしよう。

スポーツ／ **スポーツ合宿・イベントの誘致** **企業向け福利厚生プログラムの提供**(団体旅行の誘致) **地元向け児童・高齢者スポーツの場の提供** **小湊角力大会** **アウトドアスポーツ・アクティビティの体験プログラム提供**

カルチャー／ **ミュージアム機能** **シェアセミナーハウス** **一次産業・伝統文化体験教室** **カルチャー教室** **文化イベント・シンポジウムの誘致・開催**

## 周辺地域の付帯整備

本構想では本施設の整備にとどまらず、地域全体のデザインを以て推進します。将来的な地域ビジョン・構想をもとに、周辺地域も連携して整備していきます。

### ●日蓮記念公園

誕生寺周辺の**鯛の浦遊覧船発着所**～**大弁天・小弁天**のエリアを整備し、地域の偉人である**日蓮聖人生誕の記念モニュメント**を建設し、歴史に思いを馳せる巡礼のメッカとします。日蓮聖人生誕まつわる「**三奇瑞**」(鯛ノ浦のタイ・誕生水・蓮の花)の現場に記念碑を建立し、鯛の浦遊覧船からの見学を促し、同遊覧船の活性化も図ります。

### ●商工会館・観光案内所の再整備

本施設より徒歩数分の場所に位置し、海岸に面した絶好のロケーションを誇る、商工会館・観光案内所を再整備し、本施設と連携し、**本施設では対応しきれない機能を補完**することで、商工観光のミニ拠点として活用を図ります。